

問1 日本銀行が「売りオペレーション」を行った際に、市場の金利や経済活動に与える影響として正しい組み合わせはどれですか。（2022年 静岡公立入試 類似）

- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 市場の通貨量が減少し、金利が上昇することで、企業や家計の資金借入が抑制される。 | 2. 市場の通貨量が増加し、金利が低下することで、企業や家計の資金借入が活発になる。 | 3. 市場の通貨量が減少し、金利が低下することで、物価の下落がさらに加速する。 | 4. 市場の通貨量が増加し、金利が上昇することで、輸出企業の国際競争力が高まる。 |
|--|--|---|--|

問2 家計や企業から「預金」として資金を集め、その資金を必要としている別の個人や企業に「貸し出し金」として提供するという、銀行が果たしている「仲立ち」の役割を何とといいますか。（2019年 福岡県公立入試 類似）

- | | | | |
|-----------|---------|----------|------------|
| 1. 金融仲介機能 | 2. 直接金融 | 3. 通貨発行権 | 4. 支払準備金制度 |
|-----------|---------|----------|------------|

問3 不景気の際に日本銀行が行う金融政策である「買いオペレーション」において、日本銀行が民間銀行に対して行う直接的な行動と、それによって市場に流通する通貨量に与える影響の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2024年 長野県公立入試 類似）

- | | | | |
|-----------------------------|---------------------------|-----------------------------|---------------------------|
| 1. 民間銀行から国債を買い取り、市場の通貨量を増やす | 2. 民間銀行に国債を売却し、市場の通貨量を増やす | 3. 民間銀行から国債を買い取り、市場の通貨量を減らす | 4. 民間銀行に国債を売却し、市場の通貨量を減らす |
|-----------------------------|---------------------------|-----------------------------|---------------------------|

問4 不景気の際に、日本銀行が景気を刺激して回復を図るために行う「公開市場操作」について述べた次の文の空欄にあてはまる用語の組み合わせを選びなさい。「日本銀行が民間の銀行から国債を（ ① ）ことで、市場に流通する通貨量を増やし、金利を下げた企業が資金を借りやすくする。この操作を（ ② ）という。」（2019年 鳥取公立入試 類似）

- | | | | |
|-----------------------|---------------------|---------------------|------------------|
| 1. ①：買い入れ ②：買いオペレーション | 2. ①：売却 ②：売りオペレーション | 3. ①：買い入れ ②：預金準備率操作 | 4. ①：売却 ②：公定歩合操作 |
|-----------------------|---------------------|---------------------|------------------|

問5 好景気によって企業の生産活動が活発になり、インフレーションが発生している状況下での「物価」と「貨幣（お金）の価値」の関係について述べた文として、正しいものはどれですか。（2026年 福岡公立入試 類似）

- | | | | |
|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|
| 1. 物価が上昇するため、相対的に貨幣の価値は下がる | 2. 物価が上昇するため、相対的に貨幣の価値も上がる | 3. 物価が下落するため、相対的に貨幣の価値は上がる | 4. 物価が下落するため、相対的に貨幣の価値も下がる |
|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|

問6 かつて行われていた「物物交換」と比較したとき、社会に貨幣が普及したことで得られた経済的な利点として、適切な説明はどれですか。（2023年 富山公立入試 類似）

- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 自分の欲しいものと相手の欲しいものが一致しなくても、貨幣を介することで取引が可能になった。 | 2. 貨幣自体が食べ物や衣服のように生活に直接役立つため、交換しなくても豊かになれるようになった。 | 3. すべての商品の価値が貨幣の素材（金属など）の重さだけで決まるようになり、価格変動がなくなった。 | 4. 貨幣があれば労働をする必要がなくなり、社会全体の生産性が飛躍的に向上した。 |
|--|---|--|--|

問7 日本銀行が「銀行の銀行」としての役割を果たす具体的な仕組みについて、最も適切な説明を選びなさい。（2017年 長崎県公立入試 類似）

- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 一般の銀行の資金が不足した際に融資を行い、金融システムの混乱や連鎖的な倒産を防ぐ仕組み。 | 2. 税金の納付を受け付けたり、公共事業の費用を政府に代わって支払ったりする仕組み。 | 3. 日本で唯一の紙幣（日本銀行券）を発行し、市場に流通する貨幣の量を調整する仕組み。 | 4. 個人や企業から直接預金を集め、それを原資として住宅ローンなどの貸し出しを行う仕組み。 |
|---|--|---|---|

問8 ある特産品を生産する農家が、事業の運営資金を確保するために金融機関から資金を調達する場合を想定します。この際、借りた金額や借りている期間に応じて、元本とは別に支払わなければならない費用のことを何とといいますか。（2026年 鳥取公立入試 類似）

- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 1. 利子 | 2. 配当 | 3. 株式 | 4. 証券 |
|-------|-------|-------|-------|

問9 1990年代後半から2010年代半ばにかけての日本の経済成長率の推移をみると、2008年から2009年にかけて成長率がマイナス5%近くまで急激に落ち込んでいる時期があります。この大きな要因となった出来事として最も適切なものはどれですか。（2017年 東京都公立入試 類似）

- | | | | |
|---------------------------------------|--------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|
| 1. アメリカ合衆国の証券会社の破綻をきっかけとする世界的な金融危機の発生 | 2. 消費税率が5%に引き上げられたことによる国内の個人消費の著しい低迷 | 3. 郵政民営化や道路公団の民営化といった構造改革による公共投資の削減 | 4. 不動産や株式の価格が急落したバブル経済の崩壊による金融機関の破綻 |
|---------------------------------------|--------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 市場の通貨量が減少し、金利が上昇することで、企業や家計の資金借入が抑制される。	売りオペレーションによって民間銀行の資金が日本銀行に吸収されると、銀行が貸し出しに回せるお金が少なくなります。希少となった資金の「価格」にあたる金利は上昇し、高い金利を嫌って企業や家計はお金を借りにくくなります。これにより、消費や投資といった経済活動が落ち着き、物価の上昇を抑える方向に働きます。
問2	答え 1 金融仲介機能	銀行は、資金に余裕がある主体から預金を受け取り、資金を必要とする主体へ貸し出しを行うことで、経済活動を円滑に進める役割を担っています。このように資金の出し手と受け手の間に入って資金を融通することを、金融仲介機能と呼びます。これは、銀行などの金融機関が間に入る「間接金融」の代表的な形態です。
問3	答え 1 民間銀行から国債を買い取り、市場の通貨量を増やす	景気が悪い時には、日本銀行が市場にお金を供給して経済活動を刺激する必要があります。日本銀行が民間銀行の保有する国債を買い取ることで、その代金が民間銀行に支払われ、結果として世の中に出回る通貨の量が増えることになります。これを買いオペレーション（公開市場操作）と呼びます。
問4	答え 1 ①：買い入れ ②：買いオペレーション	日本銀行が市場の通貨量を調節する政策を公開市場操作といいます。景気が悪いときには、日本銀行が銀行の持つ国債を買い取ることで、その代金が民間銀行へと渡り、世の中に出回る通貨（マネーストック）が増加します。これにより、資金の供給が需要を上回って金利が低下し、企業が設備投資などのための資金を借りやすくなることで景気を刺激します。
問5	答え 1 物価が上昇するため、相対的に貨幣の価値は下がる	インフレーションが起こると、これまで100円で買っていたものが120円出さないと買えなくなるなど、モノの値段（物価）が上がります。これは、同じ金額の貨幣で交換できるモノの量が減ることを意味するため、貨幣の価値は実質的に低下することになります。
問6	答え 1 自分の欲しいものと相手の欲しいものが一致しなくても、貨幣を介することで取引が可能になった。	物物交換では「自分が持っているもの」と「相手が欲しがっているもの」が完全に一致しなければ取引が成立しませんでした。しかし、貨幣が交換手段として機能することで、いったん商品を貨幣に換え、その貨幣を用いて別の場所や時間で自分が必要なものを手に入れることができるようになりました。このように、貨幣は交換の不一致を解消し、取引を円滑にする背景を持っています。
問7	答え 1 一般の銀行の資金が不足した際に融資を行い、金融システムの混乱や連鎖的な倒産を防ぐ仕組み。	民間銀行は、預金者からの払い戻しが重なるなどして一時的に手元の資金が不足することがあります。このような際、日本銀行が「最後の貸し手」として民間銀行に資金を供給することで、決済が滞るのを防ぎ、預金者が安心して銀行を利用できる環境を維持しています。これに対して、政府の資金を扱うのは「政府の銀行」としての役割です。
問8	答え 1 利子	金融機関から借入金を得る際、その資金を利用する対価として支払う手数料を利子（または利息）と呼びます。利子は一般的に、借りる金額（元本）が多ければ多いほど、また借りる期間が長ければ長いほど、支払う総額が大きくなる仕組みになっています。
問9	答え 1 アメリカ合衆国の証券会社の破綻をきっかけとする世界的な金融危機の発生	2008年にアメリカ合衆国の投資銀行であるリーマン・ブラザーズが破綻したことをきっかけに、連鎖的な金融危機（リーマン・ショック）が発生しました。これにより世界的な景気後退が起こり、日本でも輸出の激減や株価の下落によって、戦後最大級のマイナス成長を記録しました。他の選択肢のうち、消費税5%への引き上げは1997年、郵政民営化は2005年、バブル崩壊は1990年代初頭の出来事であり、時期が異なります。